

## FOODS

### INDIVIDUALITY

里山料理人の第一人者・北沢正和氏の監修による長野県産の新鮮な野菜をご提供。「音楽 × 学校の未来」セッションに通じるコンセプトとして、画一化した見た目や種類ではない、様々な野菜の個性、素材本来の持つ美味しさをお届けします。広尾「有機和食 山藤」によるおにぎりなどと合わせてお楽しみください。

### CREATIVITY

音楽を含めたアートと同様、またそれ以上に、人間のクリエイティビティが必要とされている「食の未来」。今回はヴィーガン、シュガーフリーを掲げ、化学調味料や添加物一切使わないアートでカラフルな無国籍フュージョン料理を提供する「SUN PEDAL」がエナジーボールをご提供。次世代の食文化を垣間みることができるかもしれません。

※時間帯によって提供内容が異なります。

※無料提供

## DRINK

### HAVANA CAFÉ (1F)

“SUMMER END” にふさわしく、カリブ海に浮かぶ常夏の国、キューバにルーツを持つカフェバー、六本木・HAVANA CAFÉ が出店。ウイスキーベースのカクテルのほか、今回のテーマに合わせたスパークリング系のドリンクをご提供します。

※ドリンクチケット対象

※20歳未満のお客様、お車でご来場のお客様の飲酒は固くお断りいたします。

### 豆と音 Beans and Sounds (2F)

ヨハン・セバスティアン・バッハに代表されるように、珈琲と音楽は切ってもきれない深い関係にあります。今回は「珈琲と音楽」に特化したプロジェクト「豆と音 Beans and Sounds」が出店。会場 1F では選曲を担当、2F ではコーヒーマスターが抽出した味わい深いコーヒーをご提供します。

※ドリンクチケット対象

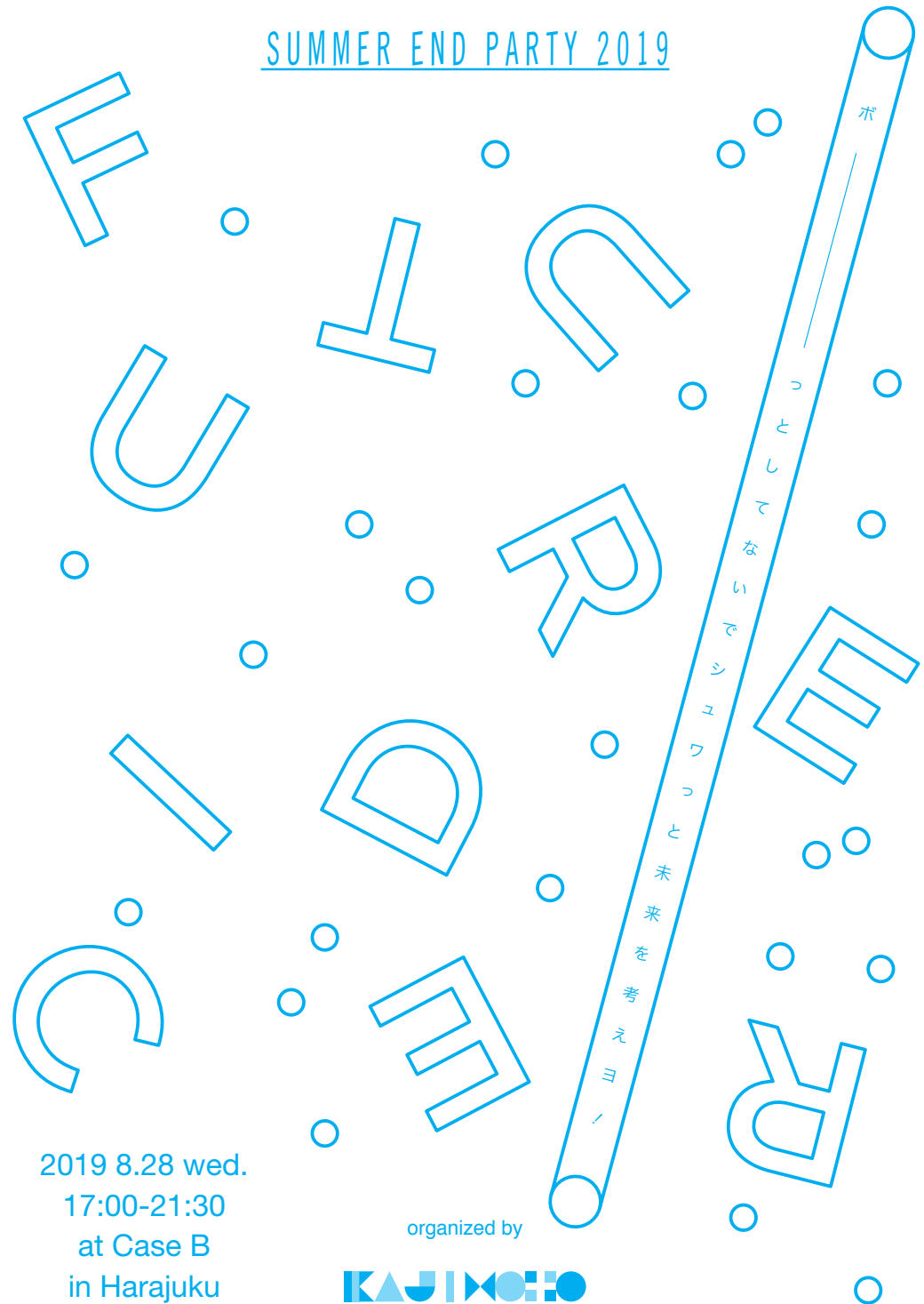
## CHOCOLAT

### JEAN-PAUL HÉVIN (2F)

フランスを代表するショコラブランド、JEAN-PAUL HÉVIN が特別に出店！ボンボンショコラ、マカロン、ショコラグラッセをお客様のお好みに合わせてサーブいただきます。ショコラと音楽の素敵なマリージュをお楽しみください。

※無料提供

## SUMMER END PARTY 2019



2019 8.28 wed.  
17:00-21:30  
at Case B  
in Harajuku

organized by



協賛 : JEAN-PAUL HÉVIN JAPON  
主催・企画制作 : KAJIMOTO

## LIVE SESSION

### LIVE SESSION 1

小林 愛実 (ピアノ)  
戸田 弥生 (ヴァイオリン)

### LIVE SESSION 2

大萩 康司 (ギター)  
荘村 清志 (ギター)  
工藤 重典 (フルート)

### LIVE SESSION 3

外村 理紗 (ヴァイオリン)  
萩原 麻未 (ピアノ)

### LIVE SESSION 4

鈴木 大介 (ギター)  
田口 悌治 (ギター)  
天羽 明恵 (ソプラノ)

### LIVE SESSION 5

中川 英二郎 (トロンボーン)  
青木 研 (バンジョー)  
青柳 誠 (ピアノ)

### LIVE SESSION 6

工藤 重典 (フルート)  
辻 彩奈 (ヴァイオリン)  
田原 綾子 (ヴィオラ)  
横坂 源 (チェロ)

### LIVE SESSION 7

神尾 真由子 (ヴァイオリン)  
萩原 麻未 (ピアノ)

## TALK SESSION

### TALK SESSION 1

#### 音楽 × 学校の未来

小田 直弥  
尾花 佳代  
佐野 靖

梶本 眞秀

これからの未来を創り出す、次代を担うこどもたちにとって、学校はどうあるべきなのか。“早期教育プロジェクト”や、東大、順天堂、慶応医学部などと連携して進めているAMS (Arts meet Science) プロジェクトに取り組み東京藝術大学。カルチュア・コンビニエンス・クラブが挑戦する従来の“知識詰め込み型”ではない21世紀型の教育を試みるT-KIDSなど、試行錯誤を重ねアップデートしていく学校の未来を考える。

### TALK SESSION 2

#### 音楽 × CX (顧客体験) の未来

青木 聡  
五十貝 一  
金子 雄樹  
中田 延亮

“座ってられないクラシック”をテーマに掲げた若手オーケストラとともに野外フェスを実現させた「STAND UP! CLASSIC」プロジェクト。ナイトクラブで始まった「yellow lounge」をチームラボ ボーダレスで開催するドイツ・グラモフォン。“インディペンデント”・ディストリビューターとして独自の展開を図る The Orchard Japan。それらを展開するレーベルの仕掛け人が登場し、顧客の体験・価値をアップデートする試みを紹介する。

### TALK SESSION 3

#### 音楽 × プラットフォームの未来

阿部 一直  
永富 志穂子  
中村 よしき  
渡辺 章

クラシック音楽マーケットの大都市一極集中や集客の伸び悩み、公的助成の削減など、地方都市におけるクラシック音楽環境が多くの問題を抱える中、強い企画力や巧みなマーケティングで、集客を伸ばす場所がある。公共施設がいかにして地域に溶け込み、芸術発信基地というプラットフォームとなって市民に還元しているのか。

### TALK SESSION 4

#### 音楽 × アーティストの未来

#### 参加アーティスト

参加アーティストが登壇するセッション。かつては登竜門とされたコンクールが、必ずしもステータスとはならなくなった現代において、これからアーティストがいかにして、表現を極め、発信し、収入を得て、活動をしていくべきなのか、自由に語りあう。

### TALK SESSION 5

#### 音楽 × オーケストラの未来

岩崎 井織  
小出 篤  
福山 修  
益満 行裕  
角田 鋼亮

日本に36団体存在するプロのオーケストラが、どういった未来を描くのか。東京、大阪、名古屋のそれぞれを代表する楽団の企画担当者が登壇。オーケストラが集中する都市部にあってどのようにして、その個性をプログラミングに反映させているのか。またコンテンツ作り、集客方法など、現代のオーケストラのあり方を共有する。

and more...

### 辻 彩奈 (ヴァイオリン)

#### LIVE SESSION 6

1997年岐阜県生まれ。2016年モントリオール国際音楽コンクール第1位。モントリオール響、スイス・ロマン管、N響、東京フィル、名古屋フィルなどと共演。第28回出光音楽賞を受賞。2019年、ジョナサン・ノット指揮/スイス・ロマン管弦楽団とジュネーブおよび日本にてツアーを実施し、その艶やかな音色と表現により各方面より高い評価を得た。現在、東京音楽大学に特別特待奨学生として在学中。使用楽器は、NPO法人イェローエンジェルより貸与されているJoannes Baptista Guadagnini 1748。

### 田原 綾子 (ヴィオラ)

#### LIVE SESSION 6

第11回東京音楽コンクール弦楽部門第1位及び聴衆賞、第9回ルーマニア国際音楽コンクール全部門グランプリを受賞。読売日響、東京交響楽団、東京フィル等と共演。室内楽奏者としても著名なアーティストと多数共演している。現在はバリ・エコールノルマル音楽院にて、ブルーノ・バスキエ氏から指導を受ける。桐朋学園大学院大学特待生。2019年度明治安田クオリティオブライフ文化財団海外留学研修生。

### 横坂 源 (チェロ)

#### LIVE SESSION 6

桐朋学園女子高等学校(男女共学)、同ソリストディプロマ・コースを経て、シュトゥットガルト国立音楽大学、並びにフライブルク国立音楽大学で研鑽を積む。13歳で東京交響楽団と出身地である新潟で初共演したのを皮切りに、国内外主要オーケストラと多数共演を果たしている。2001年全日本ビバホール・チェロコンクール最年少優勝、2010年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位。出光音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、ホテルオークラ音楽賞など多数受賞。

### 中川 英二郎 (トロンボーン)

#### LIVE SESSION 5

5歳でトロンボーンを始め、高校在学中に初リーダー作を録音。名だたるアーティストとの共演を始め、映画、CM、TVなど多くの録音でも知られる。18年、J.アレッシラと「スライド・モンstars」を結成。19年には豪メルボルンで開催された「International Jazz Day」に出演。読売日本交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、札幌交響楽団等と共演し、ジャンルを超えて活躍している。

### 青木 研 (バンジョー)

#### LIVE SESSION 5

高校在学中より演奏活動をスタート。2010年、アメリカ・サンノゼのバンジョー大会やハンガリーで開催されたジャズフェスティバルなど海外の数多くの公演に招聘される。バンジョー主体の演奏の他、数多くのディキシランド/スイングジャズの演奏家をはじめ、ブルグラス、ジャグバンド奏者、管弦楽団、吹奏楽団との共演を重ねる。日本では数少ない、ソリストとして演奏することのできるバンジョー奏者。

### 青柳 誠 (ピアノ)

#### LIVE SESSION 5

フュージョンバンド「ナニワエキスプレス」のサクセス&キーボード奏者としてデビュー。7枚のアルバムをリリースし、解散、再結成を経て現在も活動中。松本英彦 (ts) グループのピアニストも長年担当し、ステイヴ・ガッド (ds) やエディ・ゴメス (b) また渡辺貞夫 (as) らとの南アフリカのツアーにも参加。サウンドプロデュースやアレンジ、ツアーのバンドマスターとして、多くのJ-POPアーティストや企画プロジェクト、TV番組の音楽にも携わっている。

### 神尾 真由子 (ヴァイオリン)

#### LIVE SESSION 7

2007年、第13回チャイコフスキー国際コンクール優勝。国内の主要オーケストラはもとより、チューリヒ・トーンハレ管弦楽団、バイエルン州立歌劇場管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団等と共演。これまで里屋智佳子、小栗まこと、工藤千博、原田幸一郎、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫、ザハール・ブロンズの各氏に師事。楽器は宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1731「Rubinoff」を使用している。東京音楽大学教授。

## 小林 愛実 (ピアノ)

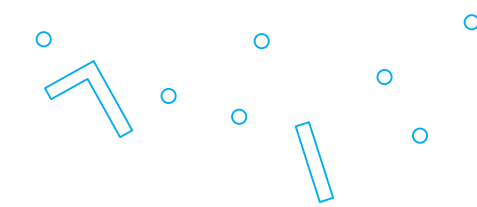
LIVE SESSION 1

7歳でオーケストラと共演、9歳で国際デビューを果たす。スビヴァコフ指揮モスクワ・ヴィルトゥオーゾ、ブリュッヘン指揮 18 世紀オーケストラなど国内外の多数のオーケストラと共演。2010 年に 14 歳で EMI Classics より CD デビューし、サントリーホールで日本人最年少となるリサイタルを開催した。2015 年 10 月、第 17 回ショパン国際ピアノ・コンクール出場、ファイナリストとなり、2018 年にはワーナー・ランシックスとインターナショナル契約した。現在、フィラデルフィアのカーティス音楽院で、マンチェ・リュウ教授のもと研鑽を積んでいる。

## 戸田 弥生 (ヴァイオリン)

LIVE SESSION 1

1993 年エリザベート王妃国際音楽コンクールで優勝を飾り、ヨーロッパ各地で本格的な活動を開始。これまでにモスクワ・フィル、ハーグ・レジデンティ管、ロンドン・フィル、小澤征爾、フルネ、ベルティエニ、アルグリッチなどと共演。CD は「20 世紀 無伴奏ヴァイオリン作品集」、珠玉の小品集「子供の夢」、エル＝パシヤとの「フランク：ヴァイオリン・ソナタ、シューマン：ヴァイオリン・ソナタ第 2 番」などをリリース。フェリス女学院大学音楽学部演奏学科教授、桐朋学園大学音楽学部非常勤講師を務める。



## 大萩 康司 (ギター)

LIVE SESSION 2

宮崎県生まれ。高校卒業と同時に渡仏し、フランスのエコール・ノルマル音楽院、パリ・コンセルヴァトワール音楽院、イタリアのキジアーナ音楽院で学ぶ。ハバナ国際ギター・コンクールにて第 2 位及び審査員特別賞を受賞。日本国内での活動に加え、欧米やアジアな世界各地に活躍の幅を広げ、各地で熱狂的な支持を得ている。新譜の波多野睦美 (メゾ・ソプラノ) との映画音楽集「コーリング・ユー」のほか、15 枚のソロ CD をリリースしている。第 6 回ホテルオークラ賞、第 18 回出光音楽賞受賞。洗足学園音楽大学客員教授。

## 荘村 清志 (ギター)

LIVE SESSION 2

9 歳よりギターを始める。1969 年日本デビュー、71 年には北米で 28 に及ぶ公演を行い、国際的評価を不動のものにした。74 年には NHK 教育テレビ「ギターを弾こう」に講師として出演し、一躍全国にその名と実力が知られることになった。2008 年ビルパオ交響楽団の定期演奏会に出演。同団とは《アラフセス協奏曲》を録音、09 年に CD をリリース、日本ツアーのソリストとして同行し好評を得た。現在はデビュー 50 周年を記念した「荘村清志スペシャル・プロジェクト」(全 4 回)に取り組んでいる。東京音楽大学客員教授。

## 工藤 重典 (フルート)

LIVE SESSION 2, 6

国際的フルーティストとして活躍する工藤重典は、1979 年にパリ国立音楽院を一等賞で卒業し、恩師ジャン・ピエール・ランバルに認められ、リサイタルやマスタークラスを 40ヶ国、180 以上の都市で開催。1978 年、第 2 回パリ国際フルートコンクール及び、第 1 回 JP ランバル国際フルートコンクールでそれぞれ優勝。現在、東京音楽大学教授、エリザベート音楽大学客員教授、昭和音楽大学客員教授、パリ・エコール・ノルマル教授を務めている。2015 年、フルートを演奏し始めて 50 年目の記念プロジェクトを各地で展開し成功をおさめた。

## 外村 理紗 (ヴァイオリン)

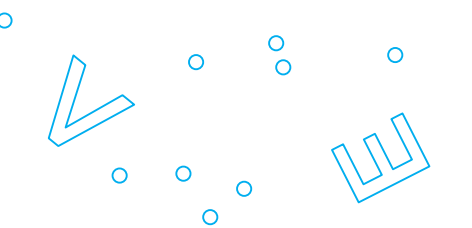
LIVE SESSION 3

2001 年生まれ。2016 年 IMA 音楽賞、第 70 回全日本学生音楽コンクール中学校の部東京大会第 1 位、全国大会第 1 位併せて免東賞、東儀賞、かんば生命奨励賞を受賞。2017 年、第 86 回日本音楽コンクール第 2 位受賞。2018 年 10 月、第 10 回インディアナポリス国際ヴァイオリンコンクール第 2 位受賞(最年少ファイナリスト)、日本人 6 大会 24 年ぶりの入賞。同年 11 月ニューヨークで開催された Young Concert Artists International Audition にて優勝、日本人としては神尾真由子氏以来の快挙となる。現在、東京音楽大学付属高等学校に特別特待奨学生として在学中。

## 萩原 麻未 (ピアノ)

LIVE SESSION 3, 7

2010 年第 65 回ジュネーヴ国際コンクールにおいて、日本人として初めて優勝。文化庁海外新進芸術家派遣員としてフランスに留学。パリ国立音楽院及び同音楽院修士課程、パリ地方音楽院室内楽科、モーツァルテウム音楽院を卒業。これまでに国内外の主要オーケストラと多数共演を重ねているほか、ヨーロッパ各地の様々な音楽祭に招かれている。



## 鈴木 大介 (ギター)

LIVE SESSION 4

作曲家の武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されて以後、新しい世代の音楽家として常に注目され続けている。マリア・カナルス国際コンクール第 3 位、アレクサンドリア市国際ギター・コンクール優勝など数々のコンクールで受賞。斬新なレパートリーと新鮮な解釈によるアルバム制作は高い評価を受け、「カタロニア讃歌〜鳥の歌／禁じられた遊び〜」は平成 17 年度芸術祭優秀賞を受賞。平成 17 年度芸術選奨文部科学大臣新人賞、第 10 回出光音楽賞受賞。洗足学園音楽大学客員教授。横浜生まれ。

## 田口 悌治 (ギター)

LIVE SESSION 4

12 才からギターを始め、17 才よりプロ活動を始める。ギター、理論、アレンジを学び、その後都内でライブ活動を開始する。ジャズ以外にも活動の幅は広く、多方面で活躍。97 年に渡米し、2001 年ギブソン・ジャズギター・コンテストに於いてベストギタリスト賞を獲得。2016 年銀座ヤマハホールで行われた武満徹没後 20 年企画「武満徹へのオマージュ」に出演。現在東京と福岡二ヶ所に拠点をもち、ツアー及びレコーディングと全国的に活躍中。

## 天羽 明恵 (ソプラノ)

LIVE SESSION 4

超絶的なコロラトゥーラとリリックな声を併せ持ち、内外で高い評価を得ているソプラノ歌手。95 年ソニア・ノルウェー女王記念国際音楽コンクール優勝。ジュネーヴ大劇場、ザクセン州立歌劇場、ベルリン・コミッシェ・オーパー等ヨーロッパ各地の歌劇場や音楽祭に出演。国内でも新国立劇場、サントリーホール・ホールオペラなどへ定期的に登場し、主要なオーケストラの定期公演にもソリストとして出演している。サントリーホール・オペラアカデミーのコーチング・ファカルティとして、若手の指導にも力を入れている。日本ロシヤニ協会運営委員。

# TIME TABLE

1F		2F
	17:00	
17:10-17:30 LIVE SESSION 1 小林 愛実 × 戸田 弥生	17:30	
17:30-18:20 TALK SESSION 1 音楽 × 学校の未来 小田 直弥 × 尾花 佳代 × 佐野 靖 × 梶本 眞秀	18:00	18:00-18:20 LIVE SESSION 2 大萩 康司 × 荘村 清志 × 工藤 重典
18:30-18:50 LIVE SESSION 3 外村 理紗 × 萩原 麻未	18:30	18:30-19:20 TALK SESSION 2 音楽 × CX の未来 青木 聡 × 五十員 一 × 金子 雄樹 × 中田 延亮
18:50-19:40 TALK SESSION 3 音楽 × プラットフォームの未来 阿部 一直 × 永富 志穂子 × 中村 よしき × 渡辺 章	19:00	19:20-19:40 LIVE SESSION 4 鈴木 大介 × 田口 悌治 × 天羽 明恵
20:00-20:20 LIVE SESSION 5 中川 英二郎 × 青木 研 × 青柳 誠	19:30	
20:20-21:10 TALK SESSION 5 音楽 × オーケストラの未来 岩崎 井織 × 小出 篤 × 福山 修 × 益満 行裕 × 角田 銅亮	20:00	20:00-20:50 TALK SESSION 4 音楽 × アーティストの未来 参加アーティスト
21:15-21:30 LIVE SESSION 7 神尾 真由子 × 萩原 麻未	20:30	20:50-21:10 LIVE SESSION 6 工藤 重典 × 辻 彩奈 × 田原 綾子 × 横坂 源
	21:00	
	21:30	

※入場時、ドリンク代別途¥500(税込)が必要となります。※出演者の記載は順不同となります。出演順などは当日タイムテーブルをご確認ください。※やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる可能性がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しは致しませんのであらかじめご了承ください。※来場順でのご入場となります。※受付後、開演時間中の入退場は自由です。再入場いただくことも可能です。(受付時間17:00-21:20)※チケットは着席を保証するものではありません。※20歳未満のお客様、お車でご来場のお客様の飲酒は固くお断りいたします。※未就学児入場可(小学生未満入場無料)※本イベントは映像、写真撮影を行います。撮影したものは今後のプロモーション等のために使用しますのであらかじめご了承ください。

## TALK SESSION 1 音楽 × 学校の未来

**小田 直弥** (NPO 法人東京学芸大こども未来研究所)

香川県出身。東京学芸大学大学院教育学研究科音楽教育専攻音楽コース修了(教育学修士)。ピアニスト、合唱指導者として活動を行うほか、NPO 法人東京学芸大こども未来研究所では専門研究員として、株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツ、株式会社鈴木楽器製作所、ヤマハ株式会社、東京都教育庁など、産学(官)連携による共同研究プロジェクトを担当。その成果の一部は、WERA(世界教育学会)、日本音楽教育学会等で公開されている。

**佐野 靖** (東京藝術大学)

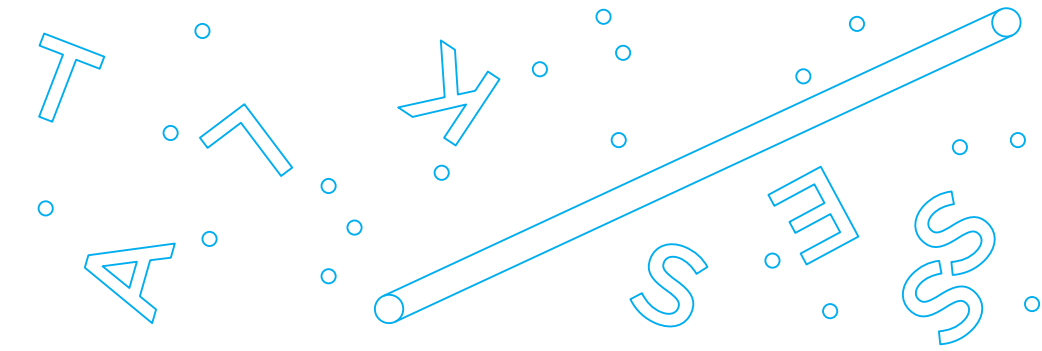
東京藝術大学教授。東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、同大学院修了(音楽教育専攻)。音楽科の授業やカリキュラムの研究とともに、教科書や専門誌の編集にも携わる。日本のうたに関しては、『文化としての日本のうた』(東洋館出版社)等を刊行し、歌い継ぐ活動を展開。アウトリーチ活動にも積極的に関わり、全国各地の学校等にアーティストを派遣。2018年度より学長特命・社会連携センター長。

**尾花 佳代** (T-KIDS 株式会社)

T-KIDS 株式会社代表取締役社長、CCC デザイン株式会社取締役、デジタルハリウッド株式会社取締役。1993 年カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社に新卒入社。2015 年「湘南 T-SITE」の開店にファミリー棟責任者として携わり、その後「すべての新しい学びがここに」をコンセプトとして掲げる「T-KIDS シェアスクール」を、2017 年柏の葉 T-SITE に開校。年齢や興味関心に合わせて自由に選べる“学びのプラットフォーム”を展開している。

**梶本 眞秀** (株式会社 KAJIMOTO 代表取締役社長)

1951 年兵庫出身。1975 年マサチューセッツ州クラーク大学卒業。ピュチャー音楽の仕事に携わった後、梶本音楽事務所(現 KAJIMOTO)入社。1992 年代表取締役社長に就任。海外からの数々のトップ・アーティスト、アンサンブル、オーケストラを招聘。優れた演奏家を日本国内に加え、海外にも広く紹介している。また、世界最大級のクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ」を展開している。2019 年 2 月、フランス共和国芸術文化勲章コマンドゥール受章。



## TALK SESSION 2 音楽 × CX(顧客体験)の未来

**青木 聡** (Zepp ライブ)

平成元年旧ワーナー・パイオニア(現ワーナー・ミュージック)に新卒で入社。1995 年にエピックレコードに転職し葉加瀬太郎などを担当後、ソニー・クラシカルでシリーズ累計売上 350 万枚を越える『image』を手掛ける。再び EPIC レコードに戻り元ちとせ、のためオーケストラを担当。レーベル在籍時から、ライブ・イメージや情熱大陸ライブなどコンサート事業を立ち上げる。現在、Zepp ライブ常務執行役員、Zepp ホールネットワーク執行役員、ソニーミュージック・ソリューションズ・ライブイベントソリューション・カンパニー副代表そしてイープラスのシニアプロデューサーを兼務。

**金子 雄樹** (The Orchard Japan)

アメリカに本社を置く The Orchard の日本オフィス・ヴァイス・プレジデント。タワーレコード渋谷店、新宿店でのバイヤーを経て本社へ。その後 Amazon Japan で音楽のバイイング・マネージャー、MP3 ストア・ローンチ、映像配信、プライムミュージックなどを担当。2019 年 4 月より現職に就く。音楽はもっぱら CD を購入して聴くオーディオスクール。番音機と SP 盤も所有し、楽器コレクターでもある。

**五十貝 一** (ユニバーサルクラシックス & ジャズ)

1980 年東京都生まれ。2004 年にユニバーサルミュージック入社。大阪営業所、インターナショナル宣伝部を経て 2008 年からクラシックス & ジャズで編成業務を担当。2016 年からジャズ部マネージャー、2018 年にクラシックス & ジャズのレーベルヘッドに就任。DG120 ガラコンサートや Yellow Lounge Tokyo を運営するなど、イベント・ビジネスにも注力している。

**中田 延亮** (指揮者)

筑波大学医学専門学群在学中に桐朋学園ソリスト・ディプロマコースでコントラバスを専攻する一方指揮を学び、在学中より活動を開始。巨匠フルネ氏に認められ最晩年の生徒として師事した。ドナウ響主催の国際指揮者コンクールで優勝し、2008 年から 10 年まで同劇場の首席客演指揮者を務めた。これまでに、ラトヴィア国立響、ポルト・アレグレ響(ブラジル)、新日本フィル、東京フィル、九州響、群馬響などに客演。

## TALK SESSION 3 音楽 × プラットフォームの未来

**阿部 一直** (アート・キュレーター/プロデューサー)

東京藝術大学美術学部藝術学科美学専攻卒。1990～2001 年キャン株式会社「アートラボ」プロジェクト専任キュレーター。03 年～17 年山口情報芸術センター、アーティストティックディレクター、副館長。坂本 龍一+高谷 史郎「LIFE - fluid,invisible, inaudible...」(2006, 2013)、渋谷慶一郎 メディアオペラ「THE END」(2012)、「Scary Beauty」(2017) など、数々の新作アートプロダクションをプロデュース。06 年ベルリン「transmediale award 06」国際審査員。17 年より文化庁メディア芸術祭アート部門審査員。18 年 3 月韓国国立 Asian Cultural Center (カンジュ市) ゲストディレクターとして「Otherly Space /knowledge」展をキュレーション。

**中村 よしき** (東京芸術劇場)

2002 年から東京文化会館で様々なコンサートのプロデュースを行い、当時の館長、故・三善 晃氏からプロデュース論、音楽制作に関し、多大な薫陶を受ける。現在、東京芸術劇場勤務。2009 年共同制作オペラを開始、現在までに 8 回のオペラシリーズのプロデューサーを務めている。また、創造発信型劇場の集まりである劇場・音楽堂連絡協議会・音楽部会事務局長を務めるなど全国の劇場、コンサートホールの連携を促進する活動に取り組んでいる。

## TALK SESSION 4 音楽 × アーティストの未来

※TALK SESSION 4「音楽 × アーティストの未来」には LIVE SESSION 参加アーティストが登壇予定

## TALK SESSION 5 音楽 × オーケストラの未来

**岩崎 井織** (東京フィルハーモニー交響楽団)

1976 年生まれ、仙台市出身。石巻専修大学 経営学部経営学科卒。中学校で始めたトランペットを機に、中学・高校・大学時代は吹奏楽・アンサンブルを中心に音楽活動を行う。大学時代から東京佼成ウインドオーケストラにてステージスタッフを経験、2001 年 1 月からサブ・ステージマネージャー、制作マネージャーを務め、定期公演や国内ツアーを制作。2004 年 3 月東京フィルハーモニー交響楽団へ入団、自主公演の企画制作その他、多種多様な依頼公演の制作を担当。現在、事業部 企画制作課課長。

**福山 修** (大阪フィルハーモニー交響楽団)

兵庫県姫路市生まれ。大阪音楽大学器楽科ホルン専攻卒業。1991 年大阪フィルハーモニー交響楽団事務局に入り、演奏事業、広報、企画制作などに従事。これまで初代音楽監督の朝比奈隆をはじめ、大植英次、井上道義、尾高忠明と続く歴代指揮者のもと、数多くのコンサートを担当、新しいプロジェクトの立案やオーケストラ運営に携わる。2005 年演奏事業部長に就任。2013 年より事務局次長を兼務、現在に至る。

**角田 鋼亮** (指揮者)

東京藝術大学大学院指揮科、ベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008 年第 4 回カラヤン生誕 100 周年記念コンクール第 2 位。ドラマ『新春スペシャル・のだめカンタービレ』においては千秋真一役の指揮指導を務めた。現在、セントラル愛知交響楽団常任指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団および仙台フィルハーモニー管弦楽団においても指揮者を務めている。いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拡げている。

**永富 志穂子** (兵庫県立芸術文化センター)

京都府出身。1990～2003 年大阪のザ・シンフォニーホールにおいて、自主事業を担当。2004 年、兵庫県立芸術文化センター推進室において、開館記念事業の音楽公演を企画・プロデュース。以後、音楽事業の企画・プロデュースに携わる。現在、大・中・小の 3 つのホールで演劇、伝統芸能なども合わせ、年間 300 公演の自主事業を主催する芸術文化センターの事業部長として、運営にあたっている。

**渡辺 章** (元・朝日新聞社)

2019 年 8 月、KAJIMOTO 入社。2001-19 年、朝日新聞社・企画事業本部で音楽事業を担当。同社大阪本社ビル再開発プロジェクトでフェスティバルホールを担当。新ホールの建築・音響設計、経営計画、開業準備を統括。1991-2001 年にはヤマハ音楽振興会で新人アーティストの発掘育成、e 音楽ビジネス開発などに従事。インペリアル・カレッジ・ロンドン土木工芸学部中退、英国国立音楽大学卒業。趣味は草野球とエレクトロ系ダンスミュージック制作。

**小出 篤** (名古屋フィルハーモニー交響楽団)

1972 年神奈川県出身。慶應義塾大学法学部政治学科卒。中学・高校は吹奏楽部、大学はオーケストラでホルンを吹く。ホルンを阪本正彦氏(東京交響楽団)に師事。商社、音楽事務所(2 社)勤務を経て、2003 年名フィル事務局に入り、2 年間広報を担当した後、企画制作を担当。特に好きな作曲家はヤナーチェクとショスタコーヴィチ。音楽以外の趣味はスポーツ観戦で、名古屋グランパスと名古屋ダイヤモンドルフィンスの大ファン。

**益満 行裕** (日本フィルハーモニー交響楽団)

学生時代より草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバルに事務局として参加。2004 年日本フィルハーモニー交響楽団入団。2009 年より企画制作部に所属し、現在は事務次長企画・制作部長。同団の東京定期演奏会(サントリーホール)を中心に、日本フィルの各種公演の企画・制作業務に携わっている。

